



円中自治会ニュース

第251号

令和6年2月15日発行（広報部）



どんど焼き 田んぼでの開催は最後に！

1月13日、伝統行事のどんど焼きが開催されました。長年、円中のどんど焼き会場として利用させていただいていた田んぼが、住宅地として開発されることになりました。広い場所で実施できるのも今年が最後になります。



さて午後2時に点火、横のテントでは子どもたちによる祭り太鼓の演奏が始まりました。子どもがたく太鼓は、酒田神社の例大祭、どんど焼きなどお祭りムードを引き立ててくれます。

今年のだんど焼きは、団子焼きはもちろんのこと、となりで青少年育成部・体育部などが中心になって焼き芋も提供されました。

門松やしめ縄などの正月飾りや前年のお札、お守りなどを燃やし、家内安全や無病息災を祈願します。この聖なる炎で焼いたお団子を食べて、厄払い、コロナやインフルエンザに負けず、元気に生きましょう。

能登半島地震に義援金

どんど焼きの会場で能登半島地震で被災された方への義援金をお願いしました。

急なお願いにもかかわらず、皆さまから11,430円が寄せられました。

自治会長が日本赤十字社神奈川県支部を通じて、皆さまから寄せられました善意をお送りしました。

ご協力ありがとうございました。



円中自治会ホームページ

<https://enchujitikai.conohawing.com>

<くじ引き>



午後4時、文化部が中心になって恒例のくじ引きが行われました。だんごを焼く人も手を休め、くじの列に並んでいました。この時間帯が参加者のピークでしょう。例年以上に参加者が多いかと感じました。くじ引き景品は子ども、大人用とも多数ありましたが、ほぼ配り終えました。



焼き芋づくり



最後に松小屋を燃やす

<松小屋作り>

どんど焼きに先立ち、1月6日に道祖神を囲う松小屋が作られました。青少年育成部が中心になり、鳥海善次郎さんの指導を受け、歴代の子ども会会長にお願いしてできました。今後ともこの伝統を受け継ぎ、次世代に継承していきます。



完成した松小屋の前で記念撮影

ふれあいの集い

令和6年が良い年であるように、1月20日新年を祝う福祉部主催“ふれあいの集い”が開催されました。今年も引き続き、ふれあいの集いに多くの方が参加いただくようお願いいたします。この日は朝から雨が降り出し、このような状況にもかかわらず、37名と多くの方に参加していただきました。

冒頭に野崎自治会長は、今年辰年、竜は賢く、成功した者の例え、竜のよう



に様々なことを学び、自治会活動に尽力したいとあいさつしました。



<ハイドレインジア>

催しは、「ハイドレインジア」の皆さんによるコーラスで始まりました。童謡の「雪」で始まり、朝ドラの「愛の花」、「上を向いて歩こう」、「川の流れのように」などすばらしいハーモニーを聞かせてくれました。

ちなみにハイドレインジアとは、英語でアジサイのことです。



<開成ふるさとかるた>

かるた取りで楽しみました。やはり勝負となると皆さん真剣です。



このゲーム、全員に景品はあるようですが、他の人よりも早く勝ちたいのは世の常です。ビンゴゲームの数字が発表されるたびに盛り上がります。本年最初のビンゴは19組佐々木さん、いい年になるといいですね。

ハイドレインジアの皆さんには、ビンゴにも参加していただき、皆さん早々に花を確保してられました。



<ビンゴゲーム>

最後は恒例のビンゴゲームです。ビンゴゲームと言えば石川福祉部副部長です。石川さんの司会で、ゲームは進められました。

「ビンゴ！」景品は鉢植えです

マーじゃん同好会

円中マーじゃん同好会（倉林弘行会長）は、年末恒例のマーじゃん大会を行いました。通常月では、13時から17時までの4時間で半チャン4回です。今回は10時集合、17時まで、昼食の弁当も出て7時間の長期戦で、10名が参加しました。

結果は、大勝ちはしないものの、負けなしの高橋さんが優勝、金粉入りの酒を獲得しました。



優勝 高橋 裕幸（16組）
準優勝 小川 政之（13組）
第3位 大宮 敏正（7組）

今後の予定です

2月19日 (日)	交通安全ボランティア総会	3月9日 (土)	組長・専門部合同会議
2月25日 (日)	自治会館清掃(9組)	3月10日 (日)	自治会館清掃(9組)
2月26日 (月)	ほっとサロン	3月17日 (日)	自治会総会
3月3日 (日)	かいせいクリーンデー	3月24日 (日)	自治会館清掃(11組)
3月9日 (土)	ふれあいの集い「男の料理」		

交通安全街頭指導日は、2月22日(木)、3月1日(金)、3月15日(金)、3月22日(金)です。

今年も見守ります

1月8日は小学校・中学校の始業式で、短い冬休みが終わり、子どもたちは元気に登校していきました。今年最初の交通安全指導です。交通安全指導ボランティアの皆さん、今年もよろしくお願いいたします。

子どもたちも元気に学校に行って、勉学、スポーツなどに励みましょう。



ひと 円中 人のわ (「わ」とは輪であり、和でもある)

広報部 村松 嗣子 (3組組長)

私は昭和31年、北海道夕張市で生まれ、生後3ヵ月くらいの時に母方の実家である岩手県遠野市に移り住み、高校卒業まで住んでいました。

遠野はすごく田舎で、吉幾三の「おら、東京さ行くだ」の歌詞そのものでした。野原を駆け回ったり、牛の放牧の手伝いをしたり、楽しく過ごしたのを覚えています。

高校卒業とともに、神奈川県川崎市にある聖マリアンナ医科大学看護学科に入学し、21歳から現在まで看護師として働いています。45年間も働き続けています。そこで多くの方の生き死に関わり、多くのことを学ぶことが出来ました。それが今尚看護師を続けている理由かもしれません。

就職したころは、80歳ともなるとかなりのお年寄りと感じましたが、今は80歳だと「あら、まだ若いね?」といった感じで、高齢化があつという間に進んでしまったと思わざるを得ません。

円中に移り住んで、約30年になります。その当時、子供の学童保育があるところを考慮し家探しをしたところ唯一酒田保育園で行っていましたので、すぐにその近くに住むことを決めて、現在に至ります。

趣味は、旅行です。今年6月に初めてサウジアラビアに行きました。旅行というより巡礼といっ

た感じでしたが、祈りで始まり祈りで終わる1日を、その場にいる全ての人が受け入れ、当たり前のように過ごしていることが、日本人の私にとっては不思議でした。

建物はとても近代的で、綺麗でした。気温は45度もあったのですが、日本の35度ぐらいの感じで、乾燥しているのか、暑くて苦しいという感じはありませんでした。様々な国の文化や人に触れどんなに楽しくても、最後にいつも思うのは、「あー日本っていいな」です。

自治会の役員は持ち回りで担当するので、仕方ないことだと思いますが、仕事をしながら行うことは少し負担に思います。又、周囲を見渡しても高齢化が進んでおり、今のやり方で自治会を運営していくのは今後難しくなるのではないかと考えます。具体的にはよく分かりませんが、漠然とした不安を覚えます。しかし、現状を踏まえながら、少しでも住みやすい町作りに協力していきたいと考えます。

